

## 東京湾再生官民連携フォーラム 令和3年度 第1回企画運営委員会

1. 開催日時 令和3年6月30日(水)、10:30~12:00
2. 開催場所 リモート形式 (Zoom 利用) と対面形式との併用による委員会開催  
対面形式の会議場・みなと総研3F 会議室  
(バックアップ・事務局 Zoom 運営)

### 3. 議事次第

#### 《審議事項》

- (1) 令和2年度事業報告(案)、決算(案)及び監査結果について
- (2) 令和3年度通常総会 会議方法 会場について(案)
- (3) 第三期計画 ワーキンググループの提案(案)

#### 《報告事項》

- (1) PT活動報告
- (2) フォーラム監事監査指摘事項報告
- (3) 東京湾の日 動画公開について
- (4) その他

### 4. 出席者 (敬称略)

來生議長、佐々木委員、中村委員、古川委員、斉藤委員、田中代理、松村代理、松澤代理、渡邊代理、行木委員、酒井委員、田中代理、福嶋代理、石塚代理、米沢代理、石井委員、西代理、張能代理、市川委員、細川(事務局)20名出席

### 5. 議事メモ

#### 5-1 開会

##### (1) 事務局確認事項

参加者出欠確認および今年度の新任委員: 神奈川県環境部 関委員、川崎市港湾局 二宮委員、横須賀市港湾部 小林委員 3名

リモート形式(Zoom 利用)による委員会の開催

##### (2) 開会挨拶(議長)

年度替わりで、フォーラムの活動も第二期の総まとめに入ります。早速、議事に入ります。事務局から審議議案説明をお願いします。

## 5-2 議事

## 《審議事項》

## (1) 令和2年度事業報告(案)、決算(案)及び監査結果について

## 【決定事項】

令和2年度事業報告(案)、決算(案)及び監査結果は、承認されました。

## (事務局説明)

## 審議資料 1-1、1-2 説明

令和2年度事業報告をご説明します。令和2年度の第2回企画運営委員会で事前に説明していますので簡潔します。1 ページ目 1~9 までをご覧ください。1. 第二期中間報告書の発表では、フォーラム活動成果の評価が紹介されています。2. 交流連携事業の実施強化では、(1)CSR-NPO 未来交流会の実施により相互交流を狙いとして、市民と企業との交流の場の機会をつくりました。(2)の窓 PT のアウトリーチ活動では、フォーラム会員と一般市民との交流が図られました。2. (3)、(4)活動は、フォーラム内部の交流連携活動を図りました。次に3. 4. は会議体の実施の状況です。5. 海ごみ・プラスチックゴミのクリーンアップ活動を実施しました。市民連携の支援強化を図る活動です。6. は、各プロジェクトチームのそれぞれの活動状況です。7. は、東京湾大感謝祭 2020 をオンラインイベントで実施しました。8. フォーラムの後援活動、9. 東京湾の日 PR 活動を始めました。以上が令和2年度の活動です。

特に、中間報告でフォーラムの活動の官側の評価を紹介します。報告書ではフォーラムの設置と9つのPT活動の位置づけ、さらに政策提案の「新たな指標に関する提案」において、指標すべてを採用していただき、第二期の収集・評価・分析に繋がり、引き続きの協力が求められました。行政側ではできないデータの収集を指標活用PTで実施しています。

「生き物生息場づくりの提案」では、実際に港湾工事から発生した土砂を活用して、千葉沖茜浜の施行実施に結び付いています。「パブリックアクセスの提案」では、情報提供の機能の充実、「海水浴の復活提案」は、お台場海浜公園や葛西臨海公園での実施に結び付いています。

「東京湾感謝祭」では、多くの人が東京湾を身近に感じていただけるきっかけづくりに結び付き、イベントとして、東京湾の再生、官民の連携の輪の広がりなど評価をいただいています。

「東京湾環境調査とワークショップ」ですが、一斉調査では民間団体、市民団体の参加がきっかけとなり、東京湾への関心を含めて広がりなど評価をいただいています。

東京湾再生官民連携フォーラム活動が評価をいただき、うれしいところであり、引き続き努力をしていきたい。その他に関しては、項目だけ見ていきます。

2. 交流連携事業は、CSR-NPO 未来交流会を実施し、情報について勉強しました。また p12 大森海苔のふるさと館には、フォーラム活動のパネルを置いていただき、PT 活動、連携を紹介することができました。

5. 海ごみ・プラスチックゴミのクリーンアップ活動は、葛西海浜公園において、現場への活動に参加をすることができました。

6. の PT チームの活動につきましては、それぞれの活動を紹介しています。p 22 では東京湾の日の PR で、ポスターや動画を作成しました。p23 以降は、会員へのメール配信の実施を掲載しています。東京湾エリア以外の活動を p28p-33 にかけて掲載しています。各地に東京湾の活動を発信することができました。最後の p34 には、セブン-イレブン記念財団のご支援の感謝を記載しています。

引き続き決算について説明します。

決算収支の記載として、収入は、助成金のセブン-イレブン記念財団、会員、会員以外の寄付金そして雑収入、前年度繰越金となっています。全部合わせた収入が、¥4,084,816-です。

支出は、使い方が異なるのでセブン-イレブン記念財団の支出、それ以外の支出として、記載しています。支出に関しては、事務局経費とフォーラム事業費と別れています。事務局経費は運営に必要な人件費などで、セブン-イレブン記念財団のルールに則った経費、事業費は、CSR-NPO 未来交流、広報費、のぼり旗の制作、交通費等計上しています。返納金は、科目ごとに精算しセブン-イレブン記念財団に戻した金額となります。ただし、科目の類似支出に関しては、セブン-イレブン記念財団より配慮していただきました。

助成対象外は別会計で支払っています。今年度は不足金額¥37,788-が生じました。1年間のやり取りの結果として、貸借対照表と財産目録を付けています。

監査は、6月16日(水)に、みなと総研3F 会議室 において風呂田監事、Zoom 参加した大浦監事により、確認し承認していただきました。

#### 【審議経過】

來生議長

事業報告案 決算案について、ご質問、ご意見ありますか、特にないということであれば、ご承認いただいたということ为先に進めます。

#### 《審議事項》

(2) 令和3年度通常総会 会議方法 会場について(案)

【決定事項】

令和3年度通常総会 会議方法 会場について提案のとおり承認されました。

(事務局説明)

審議資料2説明

開催の方法についての審議をお願いします。コロナの対応について、10月段階では、不透明なため Zoom 利用によるオンライン開催を提案します。事務局運営会場は、みなと総研会議室です。

#### 【審議経過】

來生議長

ご質問ありますか、ないようですので承認されました。

#### 《審議事項》

(3) 第三期計画 ワーキンググループの提案(案)

【決定事項】

第三期計画 ワーキンググループの提案は、提案通り承認されました。

(事務局説明)

審議資料3説明

第二計画が令和4年度で終わります。第三期に向けた議論の開始時期となっています。第三期に向けて、今までのフォーラム活動を踏まえて検討組織を作りましょうという提案です。最初は小グループで、資料記載のメンバーで行い、WG 指示のもと要請があれば、フォーラム事務局が外部等の招請を行います。頻度などメンバーと相談となりますが、最初は頻度を高く集中的な実施を想定しています。議論のはじめとして、プレストから始めたいと思います。第一、二期で設定されているアピールポイント、PT 活動の議論、社会的な変化、大きなトレンドの整理が必要で、これらを整理議論して、第三期に向けて東京湾への貢献を果たしていきたい。

【審議経過】

来生議長

ご質問ありますか。

港湾局 渡邊代理

第三期に向けて、来月のはじめぐらいから関係省庁、自治体含めて、検討部会を立ち上げようとしています。時期を得た提案だと思います。港湾局も参加していきます。

古川委員

官側での議論もあると思うので、最初の小グループは幹事の海上保安庁等を含めて、なるべく早く人数を増やしてほしい。資料記載の検討内容についての確認ですが、この内容は頭出しと理解し、議論により変化していくものと考えてよろしいか。

事務局

提案は、小グループでの深みのある議論から始め、早く人数を増やすことはその通りだと思います。

検討内容に関しては、これに限るというわけではありません。ひとつイメージとして提示しています。官側の計画は実効性の担保と科学的な根拠だと思います。実効性の担保を考えていく上で、行政側のご意見を願いたい、など、さまざまな視点があります。議論の場で深めていただきたい。もっと広い視野でいろいろなご意見をいただき第三期計画議論につなげていきたい。

来生議長

フォーラムとしてワーキングを立ち上げ、動き始めるのが大切で、集まって議論をしたことを前提に弾力的に実施していくと考えます。

田中代理

第三期計画に関して、みなさんへのアンケートをとるのはどうですか。

来生議長

先ずは、小グループで集まりますが、ご指摘の通り、みなさんのご意見を伺いながら進める予定です。他

にご質問はありますか。特にないようですので、ご指摘をいただきました事項を踏まえて、承認とします。  
次に報告事項に進みます。

## 《報告事項》

### (1) PT活動報告 令和3年度の活動計画について（各PT長）

#### モニタリング推進PT

##### 【報告】(古川PT長)

###### 資料 1-1 説明

資料には昨年の活動報告も付けてあります参照ください。資料の(3)についてですが、「アサリわくわく調査」の特別採捕許可については、千葉県からご指導いただき、「東京湾の環境をよくするために行動する会」と連携して対応し、三番瀬での調査に関し、特採申請・許可を頂き実施しました。あらためて関係者のみなさまに感謝いたします。

今年度の活動計画について、PT 会合はメールベースとなります。東京湾環境一斉調査は、モニタリング分科会と連携して実施します。分科会の決定は、基準日が 9/16 日、実施は水質調査のみです。生物調査・イベント調査に関しては、事後の報告収集です。

今年もワークショップを開催したいと計画していますが、第三期計画も見据えて、東京海洋大学江戸前ESD 協議会とその他専門家とのネットワークを使い、東京湾の環境問題を振り返るような「(仮称)東京湾勉強会」を10月ぐらいから2週間に1回程度の開催を計画しています。計画ができましたら皆様にフォーラム事務局を通してご紹介し、ご参加のお願いをしたいと思います。

#### 生き物生息場づくりPT

##### 【報告】(佐々木PT長)

###### 資料 1-2 説明

令和3年度の活動計画は、政策提案の「マコガレイ産卵場の底質改善」のフォローアップを引き続き実施します。今年度に関しても、昨年度12月に実施したマコガレイのモニタリング調査を計画しています。コロナ禍により政策提案の議論は、なかなか進展しませんが、7月30日にはPT会議をハイブリッド形式で実施予定です。また昨年度、3月27日に木村PT長の提案によりマコガレイの調査を実施しました。これに関しては、毎年の行事にしていきたい。

#### 指標活用PT

##### 【報告】(岡田PT長 /事務局代理報告)

###### 資料 1-3 説明

資料は、市民データWGとデータ整理・評価WG二つの活動を予定しています。市民データのアンケートでは、特に、企画運営委員会の皆様にもアンケート収集にご協力をお願いします。データ整理・評価WGでは、中間評価で抽出された課題についてどう対処していくのかの議論を始める予定です。

## 大感謝祭 PT

【報告】(木村 PT 長、田久保実行委員長 /事務局代理報告)

資料 1-4 説明

ご報告します。感謝祭準備会議を実施し検討してきました。現状は、横浜大さん橋利用と資金面での営業について検討してきました。昨年同様、営業し、オンラインでの実施計画をたて、団体、企業、自治体へのご協力をお願いを行ってきました。今年度の大感謝祭は、スタートを 10 月 1 日開始予定で、17 の組織団体からの申し込みがあります。

横浜大さん橋に関しては、現在企画の募集中です。実行委員会の企画としては、資料にあります対談を調整中です

## 江戸前ブランド育成 PT 長

【報告】(牧野 PT 長 /事務局代理報告)

資料 1-5 説明

令和3年度の活動内容は、「まずは東京湾の海の幸のを知っていただき、食べていただく」こと、そして「各家庭の食卓が東京湾と繋がっていることを意識していただく」ことに展開することです。食べていただく活動を実施してきています。オンライン料理教室で魚のさばき方などの紹介、料理の仕方の紹介、PT 活動メンバーでは、「江戸前漁師を元気にする会」の YouTube 動画や「横須賀市民の会」は、貝殻アートの活動等を実施してきています。

江戸前育成 PT は、水産関係の集約点になり、オンラインでの活動料理教室の開催、江戸前理解の普及深化といった成果がありました。令和3年度は、江戸前ブランドの活動資産を活かして、料理教室等のアンケートを行い、政策提案等に活用していきます。さらに、千葉県漁連をはじめ湾岸漁師の横の繋がりを応援していきます。

## 東京湾パブリック・アクセス方策検討 PT

【報告】(竹口 PT 長 /事務局代理)

次回にご紹介できると思います。

## 東京湾での海水浴復活の方策検討 PT

【報告】(関口 PT 長 /田中 代理)

資料なし

今年度の葛西海浜公園の海水浴は、7 月 18 日～8 月 29 日の期間で開催予定です (オリンピックカヌースラロームの期間中は行わない)。昨年は水遊びということで実施しましたが、今年は駐車場の閉鎖などもあります。海水浴を楽しんでもらいたい。お台場海浜公園は、オリンピックの関係で中止です。

また、大田区では海水浴を検討している可能性があるため、情報があれば教えていただきたい。

## 東京湾の窓 PT

【報告】(芝原 PT 長 /事務局代理)

資料 1-8 説明

今年度の活動は、「令和3年度 未来のみなとづくり助成(港・海辺活動/調査研究助成)」みなと総研の

助成により、①共同研修会実施、②環境教育プログラムの実施(研修会の実践とする)、③昨年開設した東京湾情報共有プラットフォーム Facebook グループページ「ぐるっと東京湾！自然と魅力のワクワク情報」の運用の継続(通年)を行う予定です。

各施設の活性化を維持しその中で東京湾への市民の関心への醸成を図っていきたい。

## 浅瀬再生実験 PT

【報告】(鈴木 PT 長 事務局代理)

次回に紹介したいと思います。

来生議長

どの PT もコロナ禍での対面の活動が制約となっていることが伺えます。

何かご質問ありますか。

古川委員

昨年度のオンライン東京湾大感謝祭で掲載しているコンテンツはどのような扱いになりますか。

事務局

昨年度フォーラム関連のコンテンツの扱い検討は、今後議論となると思います。

古川委員

オンライン東京湾大感謝祭掲載コンテンツが、1年で消えるのは、もったいないし、一方では新しいコンテンツを入れていく必要と思いますので、検索して昨年度の掲載コンテンツにたどり着けるとかアーカイブなど良い方法を検討し、議論を深めていただきたい。

来生議長

この件はフォーラム事務局から実行委員会のほうにお伝えください。

## (2)フォーラム監事監査指摘事項報告

事務局報告

資料(2)説明

監事からの指摘を紹介します。「一つは収支構造で特に収入に関して引き続き努力が必要」、二つ目は、「フォーラムの議論に対して違った方の意見を聞く仕組みの検討が必要」という指摘です。監事の言葉でいうと、「政策提案などにつなげるときに、外部の人、企業、第三者、フォーラムとあまり関わりのない方からの意見をいただいても良いのでは」ということです。

「政策提案が行政の内部で広がりを持つ必要がある」指摘、「自治体の首長に働きかけてはいかがですか」という指摘がありました。また、「ここにきて、急速に大きく世の中が動いている印象があり、東京湾は大きな変動の中で企業に対しても十分アピールできる。大きく動くことに配慮しながらフォーラム活動を行ってほしい」という指摘がありました。

### ( 3 ) 東京湾の日 動画公開について

事務局報告

資料 ( 3 ) 説明

市民へのアプローチとして、10月1日 東京湾の日をPRする動画を作成しました。フォーラムHP、東京湾大感謝祭で公開していきます。エンドロールには、セブン-イレブン記念財団のご協力等記載しています。

### ( 4 ) その他

事務局報告

今年度の事業計画となっている「東京湾の日・10月1日」にちなんで、川柳、photoコンテストの募集を実施予定です。委員の皆様のご協力をお願いいたします。

來生議長

全体を通して、何かご質問ありますか。ないようですので、これでひと通り終わりました。

5-3 閉会

來生議長が閉会を宣言

以上